



# 最新 スポーツ大辞典

湯村久治  
鈴木富生  
他編



国書刊行会

## 最新スポーツ大辞典

### 本書の特色

- 最新のルール、新しいスポーツ・用語を、豊富な図解でわかりやすく解説。
- 原語に忠実な本文を、カタカナの発音から引ける外来語索引、日本語から引ける日本語索引、種目別索引のあらゆる角度から検索できる。

### 収録内容

一般用語、陸上競技、体操(新体操)、水上競技(水泳・水球・シンクロナイズドスイミング)、バレーボール、バスケットボール、スキー、ラグビー、アメリカンフットボール、ボクシング、レスリング、フェンシング、重量挙げ、ホッケー、アイスホッケー、フィギュアスケート、スピードスケート、ボート、ヨット、自転車、洋弓、射撃、馬術、ゴルフ、ダンス、ボウリング、柔道、山岳、サッカー、野球、テニス、バドミントン、他

### 体裁

A5判・上製函入・850頁

定価 9,500円



※小社の刊行書籍は注文制になっています。書店にご注文下さい。

発行所

国書刊行会

〒170 東京都豊島区荒川3-5-18  
☎03(917)8287 振替東京5-65209

〔取扱い書店〕



javelin throw) の選手。  
**weight shift** [weit ʃift; ウェイト・シフト] ウェート・シフト。『weight (重さ, 重量, 体重)+shift (移し変え, 転移)』《体》体重転移。鞍馬上で一方の腕から他の腕へ体重を移すこと。

《ゴ》スイング(⇔swing)するときの体重の移動。スイングを行う時、体重を左右いずれかの足に主としてかけるかということ。

**weight training** [weit træniŋ; ウェイト・トレーニング] ウェート・トレーニング。『weight (重い物)+training (訓練)』《一般》重量負荷訓練。筋力強化の運動種目。筋力強化のため、重量物(バーベル(⇔barbell)などを用いる)を負荷することによって行うトレーニングの方法。次の3つの条件が大切である、①強度。②時間。③トレーニングの頻度。

**well let** [wel let; ウェル・レット] ウェル・レット。『well (じょうずに)+let (ボールを行くがままに放っておいた)』《テニス》ライン(line)ぎりぎりのアウト・ボール(out ball)を競技者が良く判断し、受けずにそのままにした時のほめ言葉。「じょうずにかまわずにおいた!」。ウェル・ジャッジ(well judge), またはグッド・アイズ(good eyes)ともいう。

**well out** [wel aut; ウェル・アウト] ウェル・アウト。『well (じょうずに)+out (外に): 感歎文を省略したい方「うまくでした!」』《ゴ》バンカー(⇔bunker)やハザード(⇔hazard)などの障害物からうまくボールを出した時のことば。「うまく出したね」。

**well played** [wel pleid; ウェル・ブレイド] ウェル・ブレイド。『well (じょうずに)+played (試合をやった)』《テニス》「プレーがうまいぞ!」。巧みなプレイに対する称讃のあとば

ghts) を見よ。

**Wendung** [vénduŋ; ヴェンドゥング(独)] ベンドゥング。『転回, 旋回, 方向転換』《スキー》方向転換。平地や山歩きなどで行う英語のキックターン(⇔kick turn)を始めとする方向変換法。

《フィギュア》スケートにおける180度回転。キック・ターン(kick turn)ともいう。

**Western form** [wéstæn fɔ:m; ウェスタン・フォーム] ウェスタン・フォーム。『Western(西部の)+form(形式, 型)』《陸上》アメリカの西部に発達した走高跳のスタイル。ロール・オーバー(⇔roll over)型である。ウェスタン・ロール(Western roll)ともいう。



ウェスタン・ロール (Western roll)

**Western grip** [wéstæn gri:p; ウェスタン・グリップ] ウェスタン・グリップ。

『Western(カリフォルニアを中心とする米国西部式の)+grip(握り方)』《テニス》横持ち。ラケットの面を地上に伏せて上から持つ。米国西部で一般的に用いられている。軟式の持ち方と同じ。イースターン・グリップ(⇔Eastern grip)の対語。



ウェスタン・グリップ (Western grip)

**Western League** [wéstæn li:g; ウェスタン・リーグ] ウェスタン・リーグ。『Western(西の; 西洋の, 西部の, 西部地方にある)+League(連盟, 同盟)』《野》日本のプロ野球のマイナー・リーグ(minor league)の1つ。西日本所在の広島, 阪神, 中日, 近鉄, 南海, 阪急で構成されている。

**wt** [wet; ウェット] ウェット。『しめった。雨でぬれている』《ラグ》競技場が雨でぬれていること。

**wt pitch** [wet pitʃ; ウェット・ピッチ] ウェット・ピッチ。『wet(ぬれた, 湿った)』

内容見本 (原寸大)

ボール・ゲームで、「ドリブルとはどんなことか」と問えば、おそらく小学生でも、即座に運動の事実を答えるであろう。しかし掌でボールを床面に連打するドリブルを、「なぜあの動作をドリブルというのか」と反問すれば、「雨だれのしたたり落ちる動作」という common の語義とその動作内容とを関連させて答えることは、必ずしも容易ではない。このように、語句と技能とを関連させて運動の実際を把握出来るならば、運動学習の理解も一段と深まるであろう。本書においては、各語句に語義の欄を設け、その原義を究めて、なぜこの運動技術がこの語を用いているかに答えようとしている。これが、類書にない本書の最大の特徴といえることが出来る。

専門書は往々にして学を広めんとする余り、解説が難解な表現に傾き、読者に十分な理解を与える具体性を具備し得ないことがある。本書が広く万人に愛されることを願ひ、筆者たちは、平易な文章で必要事項を最も簡潔に表現することを心がけたつもりである。

スポーツ用語には、外来語が多い。これは外来スポーツの影響であることはいうまでもない。近時、スポーツの国際的交流や、マスコミの急激な発達普及により、今や、老若男女を問わず国民の全階層に、スポーツ愛好の気運がみなぎっている。いきおい、スポーツ用語がひろく一般の耳目に触れる機会が増大したのは、至極当然である。小・中・高校の学校教育の領域においてすら、総じて一〇〇〇有余におよぶ外来語を数えるのはさしたる難事ではない。これは、スポーツの外来語がスポーツ活動に浸透し、日常的に使用されていることの証左であろう。反面、スポーツ用語は、スポーツのもつスピーディさや、指導時の簡潔な表現の要求から省略語法をとり易く、また、聴覚を通して伝えられることも多いことから、誤った発音・綴字となり易く、それが慣用となり、一般化していることも少なくない。したがって、スポーツ用語の理解は、ともすれば運動の事実との単純な結合にとどまりがちな現場指導においても、語の本義をめぐって論議されることもまたしばしばである。

湯村久治  
鈴木富生

刊行にあたって

執筆者

湯村久治

山形大学名誉教授  
山形女子短期大学教授

鈴木富生

山形大学名誉教授  
盛岡大学教授

荒木善行

山形大学教育学部教授

渡辺昭二郎

前山形県立西高等学校教諭

後藤和弘

山形県立宮内高等学校校長

工藤正三

山形県立小国高等学校教諭

|           |                                          |      |
|-----------|------------------------------------------|------|
| .....229右 | ホロウ・グラウンド・エッジ (hollow ground edge) ..... | 227左 |
| .....229左 | ホロウ・バック・ロール (hollow back roll) .....     | 226右 |
| .....365右 | ボロミナード・ポジション (promenade position) .....  | 369左 |
| .....229右 | pping                                    |      |
| .....229右 | axis)                                    |      |
| .....52右  | ド・                                       |      |
| .....53左  | (body                                    |      |
| .....53左  | ver)                                     |      |
| .....53左  | ピリティ                                     |      |
| .....53左  | マ                                        |      |
| .....53左  | マーカ (marker) .....                       | 291左 |
| .....53左  | マーキング (marking) .....                    | 291左 |
| .....52右  | マーキング・ア・マン (marking a man) .....         | 291左 |
| .....52右  | マーキング・カード (marking card) .....           | 291左 |
| .....52右  | マーキングス (markings) .....                  | 291右 |



発行によせて

東京教育大学名誉教授  
元日本女子体育大学学長

## 鶴岡英吉

鈴木 鈴木博史はかつて「体育用語辞書」を出版し、わが国スポーツの普及発展に資したことがあったが、「その後日本のスポーツは大躍進とわがその縁には目を凝らすばかりである。特に男子に相当する」と言った女子がマラソン競技を走終るようになった。彼の種目に男子にも選手が進出した。また話されたのは世界をランニング熱狂が次々に広げられていったことになった。このような現状では本邦のスポーツの歴史・規則・技術等について正しい理解を持つていない。この大昔典典風味：鈴木國樹氏の著などによつては外国より輸入されてくるしかない。この大昔典典風味：鈴木國樹氏の著などによつては外国より輸入されてくるしかない。この大昔典典風味：鈴木國樹氏の著などによつては外国より輸入されてくるしかない。この大昔典典風味：鈴木國樹氏の著などによつては外国より輸入されてくるしかない。

力によりあらたなスポーツにわたって解説している。次に現在最も必要なる外国の発着、力によりあらたなスポーツにわたって解説している。次に現在最も必要なる外国の発着、力によりあらたなスポーツにわたって解説している。次に現在最も必要なる外国の発着、

日本体育学会副会長  
国際武道大学教授

松井秀治

その役割を果たす宝典といえる。

本辞典のユークスは、今日スポーツの場で使われている用語を克明に拾ひ、その言葉の成り立ちを明らかにするとともに、現代語としての平易な解説の加えてあることです。この労作は学問的にも評価されるものといえます。スポーツや体育関係者は勿論、広くスポーツ愛好者に推薦いたします。

順天堂大学体育学部長  
日本体育協会国体担当理事

## 千葉久三

『最新スポーツ大辞典』は、いろいろなスポーツで用いる言葉や新しいルールを、よく収集し、整理し、また図版を多数使用することによってわかりやすく説明されております。これは私達にとって便利で使いやすいものであると同時に、大変な労作であると思います。

スポーツを愛好する方々、特に指導者の皆さんの座右に置かれると大変に重宝されるものと思います、推薦する次第であります。

日本体育協会事務局次長  
日本学生陸上競技連合事務理事

深川長郎

スポーツがんにいふ程、スポーツ界での正しいテクニカルチームが使われなくてはならない。世界選手権、国際大会や国内での諸行事が目じろ押しのわが国において、このスポーツ大辞典が刊行され、正しい用語が登場すること、われわれスポーツ界を愛する者の大きな幸となろう。時を得た刊行物として山形での学究的成果が広く国内のみならず世界で通用しうものとして期待したい。

实践女子大学名誉教授

桂田利吉

私は若い時代、故郷に近き友と吾妻を遊學した。剣道に凝つた。大学時代にはスエド、スケート、弓術、テニスに夢中になり、また柔術、野球、バスケなどもやり、大教授時代は、一、二部の山岳部長、ワンゲル部長など務め、剣や壁高連射を歩み廻り、ニュージーランドのマウントクックに務め、今日まで好き好きスポーツをやつてゐる。自ら自分を育ててと共、青年の育成に努めてゐる。今日私の職をを支へてゐるものは正にスポーツである。古来、*mens est corpus est spiritus est*、健全なる精神は健全なる肉体に宿ると言われ、それがスポーツ精神の真の力に集中する。この度行方知れなうと肉々にけがれとす心身の構へである。即ち無常の刃に神憑つてゐる。最新研究の大辞典は、外国語、邦語の両面から各種スポーツの用語を懇切丁寧に解説し詳細な種目別索引を附して、スポーツ精神の昂揚につとめてゐる極めて便利で誠しやうを得た同好士の必携の著である。心から推薦する。

